

市議会議員の紹介

誕生して間もない糸島市で、初めての市長と市議会議員選挙が行われ、新しい糸島の「顔」が決まりました。今回は、行政をチェックする、市議会議員のみなさんを紹介します。

今回の市議会議員選挙は、合併して最初の選挙ということもあり、糸島1市2町合併協議会での決定事項を受け、旧市町ごとに選挙区と定数を設け、実施されました。

選挙の結果、24人（旧前原市15人、旧二丈町4人、旧志摩町5人）の市議会議員が決定。それぞれの市議会議員のプロフィールや糸島市政に対する考え方、公約などについて取りまとめました（50音順で紹介します）。

有田 継雄氏



「あたたかい糸島市政」を実現させるため、みなさんの声を自分の声として、次のことに努力します。

- ①お年寄りの知恵を活かし、福祉の充実をめざします。
- ②この豊かな自然のもとで、

伊藤 千代子氏



多くの市民が、失業や介護、生活の不安に苦しんで

農産学をたいせつにし、若者が住みたくなる、ロマンあふれる伊都国のまちづくりをめざします。

井上 健作氏

「糸島夢未来へ、信頼・対話絆」をスローガンに、

います。税金の無駄遣いをなくし、市民にあたたかい福祉のまちづくりを基本に、

- ①子どもや障がい者、高齢者をたいせつにする糸島市をめざします。
- ②乱開発から、自然と環境を守り、地場産業の振興につとめます。

- ①市民力を活かした協働のまちづくりの推進。

- ②安全・安心なまちの確保。
- ③家庭・学校・地域での、見守り隊や青パトの推進。
- ④独自の魅力・活力ある、市街地・商工業の再生。
- ⑤環境汚染防止と自然保全。あなたと共に築きます。

浦伊 三次氏



行政の根幹は、人の心、精神にあります。「美しさ」「優しさ」「公平さ」「思いやり」を胸に、すべての人が安住できる糸島市をめざし、次のことにまい進します。

- ①教育の充実振興。

- ②総合運動施設の建設。

- ③農業・漁業・商工業の振興。

- ④下水道の完備・道路整備。

- ⑤優良企業の誘致。

祉のまちをめざします。

- ③情報公開を推進します。

- ④こみの減量と分別回収の促進を図ります。

―生活対策など喫緊の課題も山積しています。どこまでも生活者の目線で課題解決へ全力で働いてまいります。

江頭 晶子氏



支え合う社会に向かって、共に生き、ぬくもりと安心のまちづくりをめざし、優先課題を設け取り組みます。

- ①女性の声、暮らしの声をもつと市政に活かします。
- ②困ったときに頼れる福

黒田 公二氏



糸島は、大きな可能性を秘めた元気なまちと高く評価されています。この可能性を具体的に雇用や中小企業の活性化などに繋げていかなければなりません。一方で不況が市民生活を直撃

小島 忠義氏



無限の可能性がある糸島市を元気あふれるまちにするため、現状を打破し、勇気を持って、次の事項に果敢に挑戦・実行します。

- ①地域資源を活かし、地元産業の振興に尽力します。
- ②自然環境を守り「子育て一番、糸島」をめざします。
- ③市民が主役、市民協働のまち糸島をめざします。

谷口 一成氏



糸島市の均衡ある発展をめざし、二丈地区が取り残されることがないように、次の事項に取り組みます。

- ①事業が公平に行われるか検証「検証機関」の設置。
- ②「新市基本計画」の実現。
- ③地域の活性化・振興協議会「交付金」の活用。
- ④不便の解消「コミュニティバス」の充実など。

寺崎 強氏

糸島の産業基盤である、農業・漁業、観光・商工を主体に、地域の活性化と発展を図っていきます。

地域住民の声を市政に反映させるため、声の代弁者として努力します。

また、安全・安心の食をめざし「地産地消」を推進し、安心して暮らせるまちづくりをめざしていきます。



教育や福祉、医療など、市民の暮らしに最も身近な政策について、糸島市はどのような計画を立てていくのか。
（写真は、子育て支援センターすくすくでの事業風景）



主役は市民。市民のまちづくりへの参画で、糸島市をデザインしよう。
（写真はラブアースの取り組み）

笹栗 純夫氏



「調査なくして発言なし」を政治信条に、次の事項に

田原 耕一氏

次世代のために、「ふる里・糸島」が、誰もが心豊かに

